

令和7年度 浜名学園組合 通信設備等 改修工事

図面目録

図 番	図 名	縮 尺 (A3版)
E - 1	タイトル・図面リスト	NS
E - 2	電気設備工事特記仕様書(R6.4)1/1	NS
E - 3	電気設備工事特記仕様書(R6.4)1/2	NS
E - 4	電話設備機器仕様	NS
E - 5	電話設備総合壁図	NS
E - 6	電話設備系統図	NS
E - 7	全体配置図	1/500
E - 8	居住棟 電話・放送設備 1階平面図	1/200
E - 9	居住棟 電話・放送設備 2階平面図	1/200
E - 10	きぼう 電話・放送設備 1階平面図	1/200
E - 11	きぼう 電話・放送設備 2階平面図	1/200
E - 12	なぎさ 電話設備 平面図	1/100

電気設備工事特記仕様書

25 照 度 測 定

照明器具を新設、改修した部屋の照度
※測定する ・測定しない
測定箇所等は監督職員の指示による

26 建 築 材 料 等

本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の (1) から (4) を満たすものとする。
(1) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗料は、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しない又は発散が極めて少ない材料を使用する。
(2) 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。
(3) 接着材は、可塑剤（フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含む）を含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。
(4) (1) の材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。

27 化 学 物 質 の
濃 度 測 定

・ 要 ※ 不要
測定時期、測定対象化学物質、測定方法、測定対象室、測定箇所数等については、監督職員の指示による。

28 設 備 機 器 容 量

本工事及び関連工事において設備機器容量等が相違する場合は、関連する設備の施工及び機器製作前に監督職員と協議し、指示を受けること。

撤 去 工 事

1 撤 去

・ 撤去前に内容物（発電設備燃料等）の回収を要する機器、配管等の処置（ ）
・ 撤去後の補修、復旧（ ）

2 石綿含有建材の除去工事

事前調査 ※ 行う ・ 行わない
工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等により石綿を含有している建築材料等の使用の有無について調査する。
分析による石綿含有建材の調査 ※ 行わない ・ 行う（ 箇所）
測定箇所等は監督職員の指示による。
石綿防止じん濃度測定 ※ 行わない ・ 行う（ 箇所）
測定箇所等は監督職員の指示による。
石綿作業主担当者
石綿作業主担当者技能講習修了者又は平成18年3月以前の特定化学物質作業主担当者の有資格者の内から選任し、法令に基づき、作業の方法、労働者の指導等必要な措置を行うこと。
石綿含有品 ・ フランジ用ガスケット（ ・ 配管 ・ ダクト ）
・ 天井材 ・
・ 外壁（ ・ 塗材 ・ スレート ・ ）
撤去部にアスベストを含む材料が使用されている場合は、適切に処理を行い、必要に応じて官公庁等への届出を行うこと。
石綿含有塗材の塗布された外壁及び石綿含有スレート波板等の外壁面に対して、足場及び配管等の支持のため、アンカーを打設する際にも、石綿作業主担当者を配置し、外壁面に対して漏洩状態とし、集塵機能付き電動工具を使用する等、飛散防止措置を講ずること。

電力・発電設備工事

1 防 災 用 照 明 器 具

建築基準法の規定による非常用照明器具は次による。（ ○で囲むもの ）
・ 電池内蔵形 ・ 電源別置形（ ・ バッテリー ・ 発電機 ）

2 電 動 機 等 の 接 地

金属管配線において、電動機容量7.5 KW以下は金属管を接地線とする。

3 受 変 電 設 備

受変電キュービクル本体の耐震性は、JEM-TR144「配電盤・制御盤の耐震設計指針2003年版」（一般社団法人日本電機工業協会）における耐震機能クラス1とする。

4 雷 保 護 設 備

(1) 保護レベル ・ I ・ II ・ III ※ IV
(2) 受雷部システムの配置 ・ 保護角法 ・ 回転球体法 ・ メッシュ法

5 主 燃 料 槽

主燃料槽は満油渡しとする。

6 太 陽 光 発 電 設 備

太陽電池アレイ用支持物の荷重計算は、JIS C 8955:2011「太陽電池アレイ用支持物設計標準」による。
太陽光発電システムの用途
※ 極めて重要な太陽光発電システム ・ 通常の太陽光発電システム

通 信 ・ 情 報 設 備 工 事

1 構内情報通信網設備

学校については校内LAN工事特記仕様書による。

2 テレビ共同受信装置

(1) テレビ機器収容箱
ブースターを収容する収納箱は、露出コンセント（2P15A 2口）を内蔵し、扉には放熱に有効なガラリ等を備えたものとする。
(2) アンテナマスト ・ 自立形 ・ 壁面形
・ 標準図の A の寸法（ ）mm

防 災 設 備 工 事

1 自 動 火 災 報 知 装 置

(1) 受信機
・ R型 ・ P型（ ）級（ ）回路
予備電源付（ ・ 壁掛形 ・ 自立形 ）
複合盤の場合は図示する。
(2) 副受信機 表示窓数（ ）窓（ ・ 壁掛形 ・ 自立形 ）
(3) 発信機 ・ R型 ・ P型（ ）級（ ）形
(4) 機器収納箱 ・ 埋込形 ・ 露出形 ・ 消火栓箱経込形
(5) 消火栓ポンプ始動用表示灯 ・ 専用 ※ 火報と兼用

2 自 動 閉 鎖 装 置

(1) 遠動制御器 （ ）回線（複合盤の場合は図示する。）
(2) 動作仕様
ア 動作方式 ・ 多回線順次動作 ・ 単独動作
イ 防煙ダンパ ・ 手動復帰 ・ 遠方復帰

3 非 常 警 報 装 置

(1) 非常警報装置 ・ 埋込形 ・ 露出形
(2) 起動装置（押しボタン） ・ 埋込形 ・ 露出形

4 ガス漏れ火災警報装置

(1) 受信機 （ ）回線 予備電源付（ ・ 壁掛形 ・ 自立形 ）
複合盤の場合は図示する
(2) 検知器 ・ 都市ガス ・ 液化ガス
電 源 ・ AC100V ・ DC24V
(3) 中継器 確認表示灯 ・ あり ・ なし

その他

舗装版切断時の濁水は産業廃棄物として適切に処理を行うこと。

別表

名 称

・ 配電盤、分電盤、制御盤、警報盤等
・ 照明器具
・ 電熱装置
・ 高圧機器類
・ 特別高圧機器類
・ 直流電源装置
・ 交流無停電電源装置（UPS）
・ ディーゼル発電装置
・ ガスエンジン発電装置
・ マイクロガスタービン発電装置
・ 燃料電池発電装置
・ 熱併給発電装置
・ 太陽光発電装置
・ 風力発電装置
○ 構内情報通信網装置
・ 構内交換装置
・ 情報表示装置
・ 映像・音響装置
・ 誘導支援装置
・ テレビ共同受信設備
・ 監視カメラ装置
・ 駐車場管理装置
・ 防犯・入室管理装置
・ 監視制御装置
・
○ 印の付いたものを適用する。

表 1 接 地 極 一 覧 表

接 地 の 種 類	記 号	接 地 抵 抗	接 地 極 の 規 格	数 量
・ 共 同 接 地	E A・B・C・D	10Ω以下	EB（D=1.4又はW=4.0）×3連—組	
・ A 種	E A	10Ω以下	EB（D=1.4又はW=4.0）×3連—2組	
・ B 種	E B	Ω以下	EB（D=1.4又はW=4.0）×3連—組	
・ B 種	E B	37.5～75Ω以下	EB（D=1.4又はW=3.0）×3連—組	
・ C 種	E C	10Ω以下	EB（D=1.4又はW=4.0）×3連—2組	
・ D 種	E D	100Ω以下	EB（D=1.0又はW=3.0）×1	
・ D 種	E DGB	1000Ω以下	EB（D=1.0又はW=3.0）×1	
・ 雷 保 護 用	E LA	Ω以下	EB（D=1.4又はW=4.0）× 連—組 又はEP×0.6=2	
・ 高 圧 避 雷 器	E LH	10Ω以下	EB（D=1.4又はW=4.0）×3連—2組	
・ 低 圧 避 雷 器	E LL	10Ω以下	EB（D=1.4又はW=4.0）×3連—2組	
・ 交 換 機 用	E t	10Ω以下	EB（D=1.4又はW=4.0）×3連—組	
・ 通 信 機 器 用	E At	10Ω以下	EB（D=1.4又はW=4.0）×3連—2組	
・ 通 信 機 器 用	E Dt	100Ω以下	EB（D=1.0又はW=3.0）×1	
・ 測 定 用	E o	1000Ω以下	EB（D=1.0又はW=3.0）×1	
・ 構 造 体 接 地		Ω以下		
・ 等 電 位 接 地		Ω以下		

注1）EBでD=1.4の場合はL=1500とし、W=4.0の場合はL=1200、W=3.0の場合はL=900とする。
注2）図中に記載がある場合は、それを優先する。

表 2 機 器 標 準 取 付 高 さ

名 称	測 定	取 付 高 さ (mm)	名 称	測 定	取 付 高 さ (mm)
電 力 計	地上～窓中心	1,800～2,000	表示盤	床下～中心	天井高×0.9
電 力 引込開閉器	地上～中心	1,800～2,200	受付発電機	床下～中心	1,100
電 力 分 配 盤	床下～中心	1,500	トランス・分電盤	床下～中心	2,300
分電盤	床下～中心 (上端1,900以下)	1,500	壁付押し錠(一般)	床下～中心	1,100
スイッチ	床下～中心	1,100	壁付インターホン	床下～中心	1,100
人感センサー用切替スイッチ	床下～中心	1,800	壁付771レフト(一般)	床下～中心	400
コン	(一般) 床下～中心	400	壁付771レフト(和室)	床下～中心	200
セン	(和室) 床下～中心	200	押し錠(トイレ呼出用)	床下～中心	900又は400
セント	(台上) 台上～中心	150～200	復帰錠	床下～中心	1,800
(土間)	床下～中心	500			
(外壁・屋外)	地上～中心	800	・ 機器収容箱	天井下～上端	200
ブ	(一般) 床下～中心	2,100～2,300	垂直ユニット(一般)	床下～中心	400
ラ	(踊場) 床下～中心	2,000～2,500	垂直ユニット(和室)	床下～中心	200
ケット	(踊上) 踊上端～中心	150			
灯			・ 受電機		
			・ 受電機・前受電機	床下～中心	800～1,500
			・ 機器収容箱・受電機	床下～中心	800～1,500
動	壁掛制御盤	床下～中心 (上端1,900以下)	・ アル	床下～中心	2,300
機	手元開閉器	床下～中心	表示灯	床下～中心	2,100
器	操作スイッチ	床下～中心	・ LPガス用検知器	床下～上端	300
備	室内端子盤	床下～下端			
電	集合保安器箱	天井下～上端			
	受付(一般)	床下～中心			
	受付(和室)	床下～中心			
設	壁付形時計	床下～中心 (上端1,900以下)			
計	子時計	床下～中心			
計	壁掛形スピーカ	床下～中心			
計	壁付アンテナ	床下～中心			

注）
1. 天井高 3,000以上の場合は、監督職員と協議する。
2. 窓際に関係する部分（正面玄関・玄関ホール・E Vホール・上級室・会議室）の取付位置は、監督職員と十分協議する。
3. 表は原則とし、施工前に監督職員の承諾を受ける。

表 3 耐 震 施 工 の 基 準

設備機器・配管等の支持、固定は、以下の図書を適用する。
ガイドライン：静岡県防災拠点等における設備地震対策ガイドライン（平成25年度）
センター指針：建築設備耐震設計・施工指針（2014年版）

施設分類	設備機器・配管等の支持、固定	左記のうち、横引き配管などの支持
防災上重要な機能が必要とする防災拠点等	ガイドライン*	ガイドライン*
防災上重要な施設	ガイドライン*	標準仕様書
一般の施設	標準仕様書	標準仕様書

*ガイドラインに記載のない内容は、センター指針を適用する。

株式会社渡辺建築設計事務所

湖西市

令和7年度

浜名学園組合 通信設備等改修工事

電気設備工事特記仕様書 (R6.4) 2/2

日付

縮尺

図名

図番

作成

確認

E — 3

構内交換機設備工事特記仕様書

1. 総 則

1-1工事概要
本仕様書は当工事場所に設置する電話交換設備に関するもので、本仕様書に明記なき事項についても電気通信事業法通信技術基準その他関係法規に基づき完全に施工すること、必要な届出、手続は請負業者がこれを代行する。

1-2工事範囲
1)電子交換機 1式 2)外付停電バックリレー 1式
3)電話機 1式 4)PHSアンテナ 1式
5)交換機据付工事 1式 6)電話機取付工事 1式
7)電話設備 既設撤去工事 1式

1-3別途工事範囲
コンピュータック取付工事 1式
電話回線追加込手数料 1式

1-4検 収
本工事は据付け調整工事完了後、監査員の立合い検査合格をもって完納するものとする。

1-5そ の 他
本仕様書および設計図書に明記なき事項でも係員が当然必要と認めたものは本工事に於いて施工すること、又疑義の生じた場合は速やかに申出打合せのこと。

2. 電子交換機

2-1方 式
制御方式 蓄積プログラム制御方式
通話路方式 時分割PCM方式
応答方式 仮想番号方式、分散/中継台方式、ダイヤルイン方式、ダイヤルアウト方式、ダイヤルアウト方式、ダイヤル電話方式、ISDNダイヤルイン方式、ISDN着信ダイヤル方式
2-2構 造
壁面自立型
 kabinet構造(本体、整流器、蓄電池一体型)

2-3構 成
冗長構成 一重化
CPU 32bit
空冷方式 自然空冷

2-4トラフィック(呼量)
7,0HCS/内線

2-5電氣的規約
入力電圧 AC100V(単相)
最大消費電力 約440W

2-6内線線路条件
直流抵抗 一般電話機:800～3000以下
多機能電話機:45以下

2-7環境条件
温 度 0～40℃
湿 度 25～85%

回 線 の 種 類	容 量	現 用	実 装	備 考
アナログ局線	256線→ (※1)	5回線	8回線	
多機能電話機		15回線	32回線	
一般電話器			8回線	
PHSアンテナ		14回線	16回線	
ドアホン		3回路	6回線	
バックアップ		4系統	4系統	

(※1) 増設架を追加で増設する事により容量が変化し、最大容量が384線→トになること。

種 別	番 号	記 事
局 線 発 信	0	1数字
局 線 応 答	又はαタ	1数字又はαタ
局 線 転 送	又はαタ	1数字又はαタ
コルビツアップ	又は	1数字又は2数字
短縮ダイヤル発信	+△△	1数字+コード番号
内 線 番 号	から	1数字から4数字

着信音識別	サービスクラス(※2)	ダイヤルイン
留守番電話機能	コールエクステンション	ブリエットダイヤル
ハフ音自動送出	代理応答	不完全転送呼の発呼者戻し
ラインロックアウト	話中/不応答転送	内線代表
3分予報音送出	短縮ダイヤル(固定、可変)	19インフラック搭載(オプション)
圏外トキ	内線ダイヤルイン	バックアップ(放送アラーム連動)

(※2)サービスクラス詳細

発信種別	国際	市外	特定市外	市内	局線着信	専用線	内線相互
サービスクラス							
超 特 甲	○	○	○	○	○	○	○
特 甲	△	○	○	○	○	○	○
準 特 甲	△	△	○	○	○	○	○
甲	△	△	△	○	○	○	○
準 甲	△	△	△	△	○	○	○
乙						○	○
丙							○

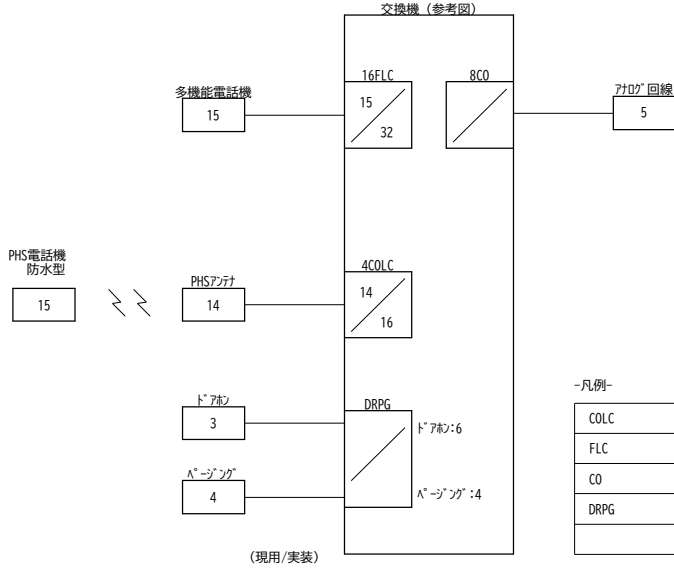
1 内線1回線毎に付与できること

2 ○=接続可 △=依頼発信 -=接続不可

3. 電源装置
電子交換機に内蔵
蓄電池
1式
1式
メーカー標準仕様
約3時間停電補償

4. 電話機/付属機器
1)181+多機能電話機(卓上型)
2)PHSアンテナ
3)PHS電話機
4)ドアホン
15台(1台停電仕様)
14台
15台
3台

5. 中継方式図



6 設定

- ・電話バックアップ機能を利用して、既設でも利用していた「学園全体」に加え、「なぎさ」と「きぼう」を棟毎に放送を可能とする。
- ・外線の着信音と、玄関子機からの呼出音を異なる音色とする。PHS子機については音区別ができないため、着信時の液晶表示で判別する。
- ・玄関子機からの呼出時には、玄関子機が設置されている対象施設に配置されるPHS子機に、ドアホからの呼出応答を可能とする。
- ・学園施設の屋内で、ダイヤル(PHS)子機が使用できる環境にし、バスとグラウンドでも利用可能とさせる。
- ・ダイヤル(PHS)子機の発信・着信・規制については、施工前に組合と打合せを行い、設定する事
- ・休日・夜間対応として「きぼう」「なぎさ」の代表電話番号について、電話子機の切替ダイヤルの操作にて自動音声案内トドへ切り替え、施設運営時間外である事を伝えたと共に急ぎの用事がある場合は学園代表番号へ電話するようお願いする。
(上記音声案内文については、施設関係者によりメッセージ録音を行なう。)
- ・「なぎさ」の作業場及び木工作業場について、指導員室の電話着信があった際はファックスイトとメッセージで通知する装置を設置する。
- ・通話録音機能を有する仕様として録音時間は10時間以上とする。

6. 外観図(参考図)

電話主装置	多機能電話機	PHSアンテナ	電話用リレーボックス
			ソフトアクトハード リレーボックス:SH-RB1 多機能電話機接続アダプタ:STR-ADP
			警報器付回転灯+直付ブラケット 100φ 215 直付ブラケット ※居住棟に7台、きぼうに5台、なぎさに3台を設置



WATANABE ARCHITECT
& ASSOCIATES

株式会社 渡辺建築設計事務所
1級建築士事務所 登録第308号 第726号
TEL 053-577-5880 FAX 053-577-5882

中尾有希子
1級建築士
横浜大学
第285131号

設計者

ファイル名

ED4-電話設備機器仕様
制作年月日
2024.6.

工事名称

令和7年度 浜名学園組合 通信設備等 改修工事

図面名

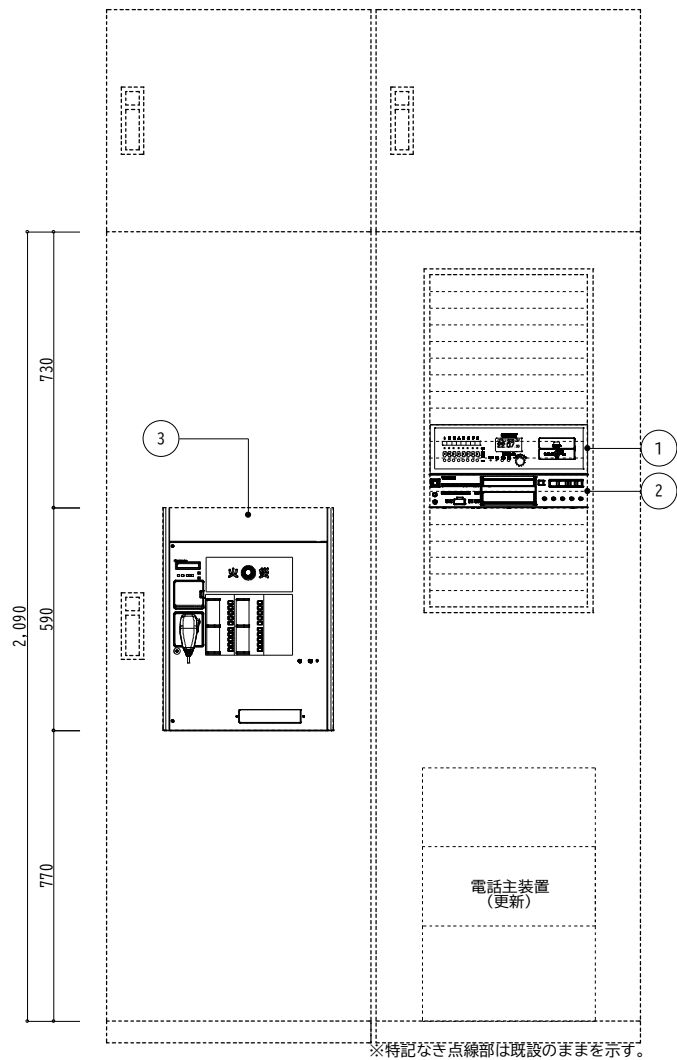
電話設備機器仕様

縮尺

NS

図面番号

E-4



撤去機器	
・壁掛形非常用放送設備(アンプ)	×1
・時計設備 親モタ 増設ユニット	×1
・時計設備 子時計2回線増設ユニット	×1
・プロگرامタイマー付親時計	×1
・チャイムユニット	×1
・CDプレーヤー	×1
・ダブルカセットデッキ	×1
・電話主装置	×1

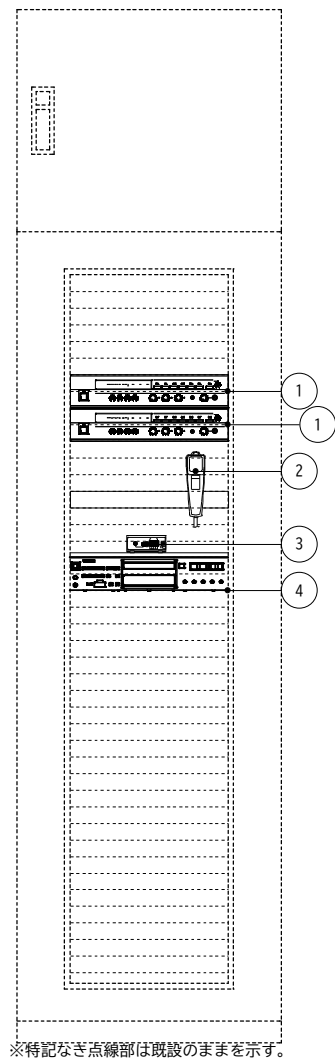
●親時計	
水晶発振周波数	3194.304kHz
精度	過差±0.7秒以内 時刻補正装置接続時は積算誤差0秒
精度保証温度範囲	0℃～+40℃
使用温度範囲	-10℃～+50℃
液晶エタ	年, 月, 日, 曜日, 時, 分, 秒, デジタル表示
日付・時刻合わせ	キ及びジヨグダイヤルにより年, 月, 日 時, 分, 秒合わせ
時計回路線出力信号	DC24V30秒有極式 過電流防止、及びサージアブソバ付
時計駆動数	1回線당り最大30個(1個12mA) 自動早送り方式
サマタイム機能	キ及びジヨグダイヤルにより設定 但しサマタイムの修正は自動
うるう秒調整	キ及びジヨグダイヤルにより設定 但しうるう秒調整は自動
信号電圧検知装置	信号電圧降下時一斉停止装置付
時計回路線拡張信号	0.5秒, 1秒, 30秒オープンククタ出力
タイミング信号	1秒オープンククタ出力
入力電源	AC100V～240V±10% 50/60Hz 20W(最大)
停電時電源	密閉型ニッケル水素蓄電池 (DC24V)内装
電池保護	過放電防止装置付
停電時動作時間	子時計駆動 約30時間 時刻カント 約5年(停電復帰後、自動修正) 時刻カント 約5年(停電復帰後、自動修正)
	プログラムタイマメモリ部 約10年
ケース	パネル/ABS樹脂製
仕上色	パネル/グレー色(マニル値N8)成型色 ケース/グレー色(マニル値N8)塗装仕上ツツ5
質量	約4.5kg

●タイムサーバ -	
長波/GPSアンテナ、SNTPサーバ -、30秒校正接続時に動作	
ネットワークポート	NTPv3/v4 SNTPv3/v4
入出力インターフェース	10BASE-T/100BASE-TX

●「プロダクト」装置	
制御方式	CPU使用 全電子式
出力回路	独立8回路 設定出力(メグ接点)
出力動作切換	各回路ごとに手動切換可能(自動, 停止, 手動)
負荷容量	接点容量AC(250V 5A 抵抗負荷 最小適用負荷DC5V 1mA
「プロダクト」の種類	週間「プロダクト」, 年間「プロダクト」
出力動作数	8回路合計2000動作 但し1回路に2000動作全部の設定も可能
設定方式	キー及び「ジョグダイヤル」により設定 パソコン及びUSBメモリによる設定も可能
接点出力	信号幅1秒単位で1秒から59秒まで可変
タイマ出力	設定時刻から設定時刻まで継続

●時刻補正装置	
SNT P9-バ-に接続又は別売の以下のアンテナを接続することで時刻補正が可能	
GPSアンテナ	屋外型 TS-G0Aシリーズ*
長波アンテナ	屋外型 KM-J0Aシリーズ*

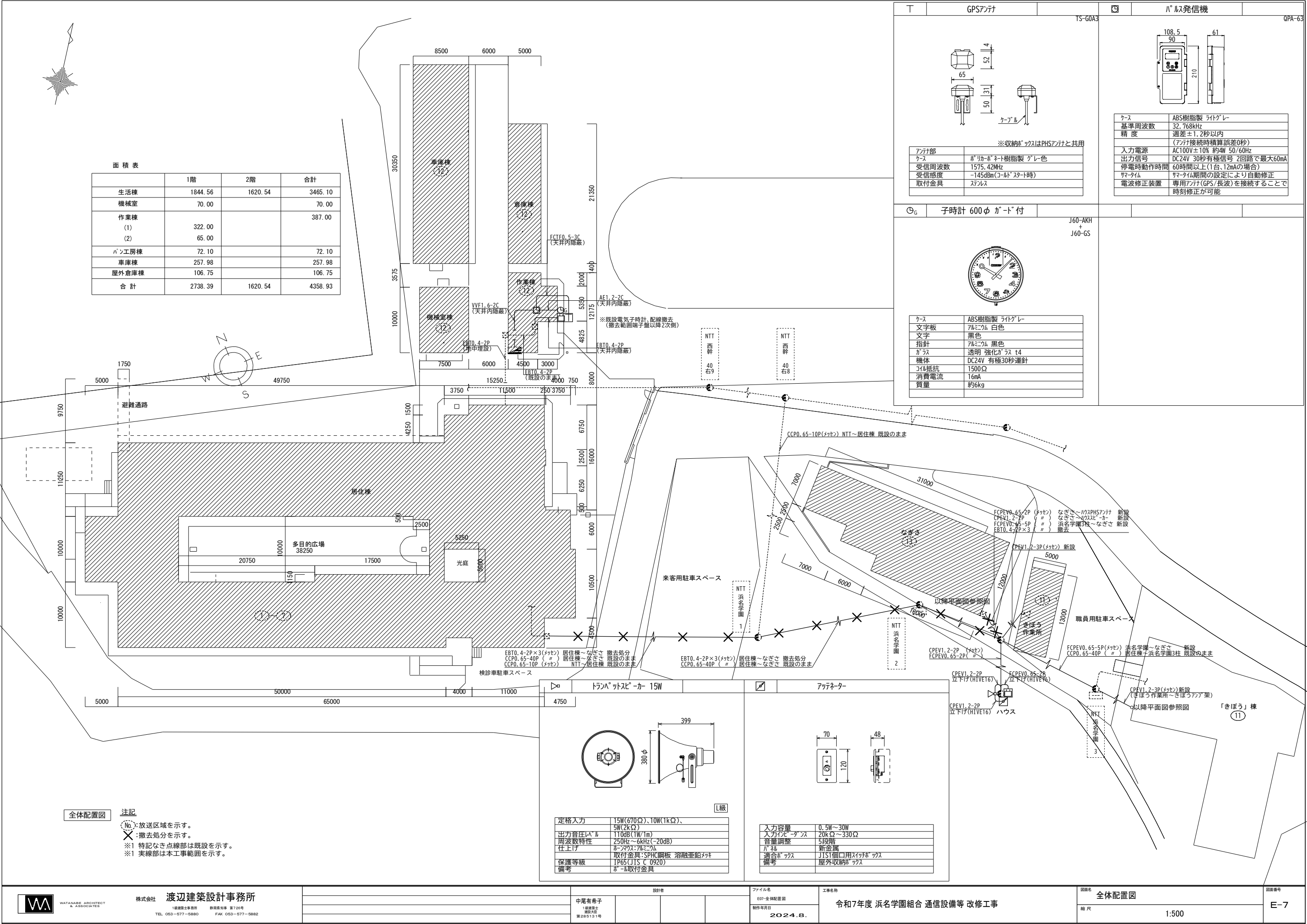
●CDプレーヤー	
周波数特性	20Hz～20kHz、±1dB
SN比	90dB以上
対応可能ディスク	CD/CD-R/CD-RW(12cm/8cm/マルチセッション/CDテキスト対応)
	USB/SD/SDHC
再生可能フォーマット	CD-DA/WAV/MP2/MP3/AAC/WMMA
アナログオーディオ出力	バランス出力:XLR-3-32
	不平衡出力:RCAE®ジャック
デジタル出力	COAXIAL出力:RCAE®ジャック
	OPTICAL出力:オプティカル

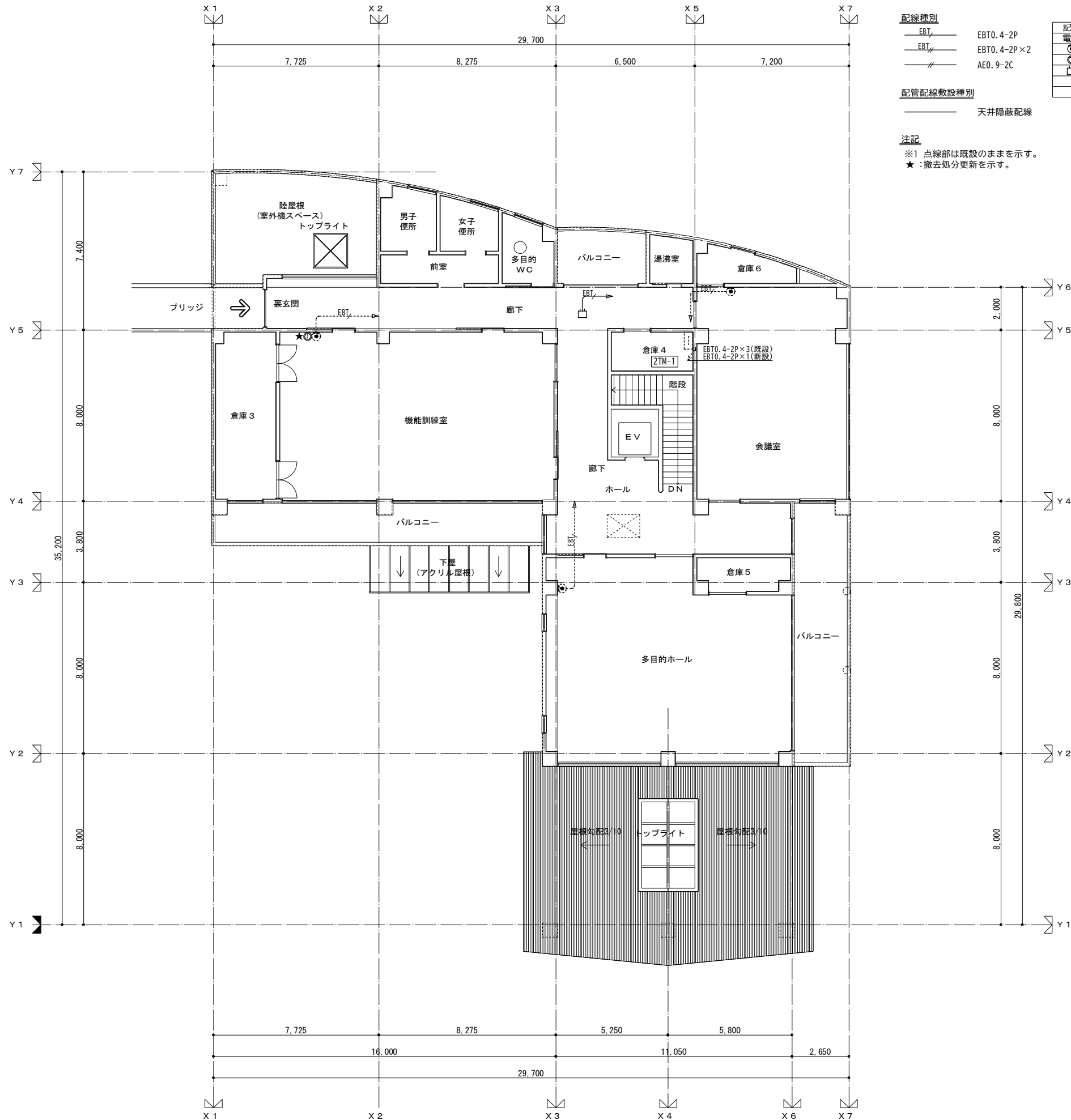
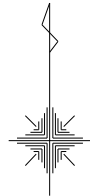


撤去機器	
・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾀｲﾐｰ	×1
・ｽﾍﾞｰｶｰｾｸﾀ-10局	×1
・BGMｽｲｯﾁﾊﾞﾅﾙ	×1
・ﾓﾆﾀｰﾊﾞﾅﾙ	×1
・ﾀﾞﾌﾞﾙｾｯﾂﾃﾞｯｷ	×1
・CDﾌﾟﾚｰﾔｰ	×1
・ﾌﾞﾘｱﾝﾌﾟﾊﾞﾅﾙ	×1
・ｼﾞｬｸｼｮﾝﾊﾞﾅﾙ	×1
・ﾊﾞﾜｰｱﾝﾌﾟ	×1

番号	名 称	員数	備 考
①	卓上型デジタラフン(120W)	2	WA-HA121
②	接話型マイク(マイクハガー付)	1	PM-240
③	レール変換アダプタ	1	JD070CD
④	CDプレーヤー	1	CD200SB

●卓上型デジタルアンパ(120W)	
定格出力	120W
周波数特性	50Hz～20kHz
入 力	マイク×3、ライン×2、A ⁺ ・B ⁺ ・C ⁺ 、チャイム、緊急リモコン
出 力	スピーカ(5周+一斉)、ライン、増設
機 能	優先放送機能、緊急制御、非常放送時遮断回路内蔵
●接話型マイク	
定格出力	600Ω(不平衡)
感度	～51dB
周波数特性	100Hz～7kHz
指向性	単一指向性
その他	トークスイッチ、マイクリコー付
●レバ [®] ル変換ボックス	
スピーカ入力	ハイレベル・ゲイン(100V/70Vライン)、スクリース端子 ローレベル・ゲイン(8Ω/0～100W)、スクリース端子
ライン入力	レベルハ [®] ル(0dB)不平衡、スクリース端子
出力(切替式)	ライン -∞～-10dB、マイク -∞～-50dB、不平衡 RCAC [®] ・ノンチャク
出力切替スイッチ	スワッチ・スイッチ(内部)、出荷時ライン出力で設定





配線種別

EBT	EBT0.4-2P
EBT	EBT0.4-2P×2
EBT	AE0.9-2C

配管配線敷設種別

天井隠蔽配線

注記

※1 点線部は既設のままを示す。
★：撤去処分更新を示す。

記号	名称	備考
電話		
●	スリットプレート	壁付
○	多機能電話機	
□	PHSアンテナ	

2階平面図 1:200



WATANABE ARCHITECT & ASSOCIATES

株式会社 渡辺建築設計事務所

1級建築士事務所 静岡県知事 第724号
TEL 053-577-5880 FAX 053-577-5882

中尾有希子
1級建築士
建設大臣
第285131号

設計者

ファイル名

E11-045 電話・放送設備 2階平面図

制作年月日

2024.8.

工事名称

令和7年度 浜名学園組合 通信設備等 改修工事

図面名

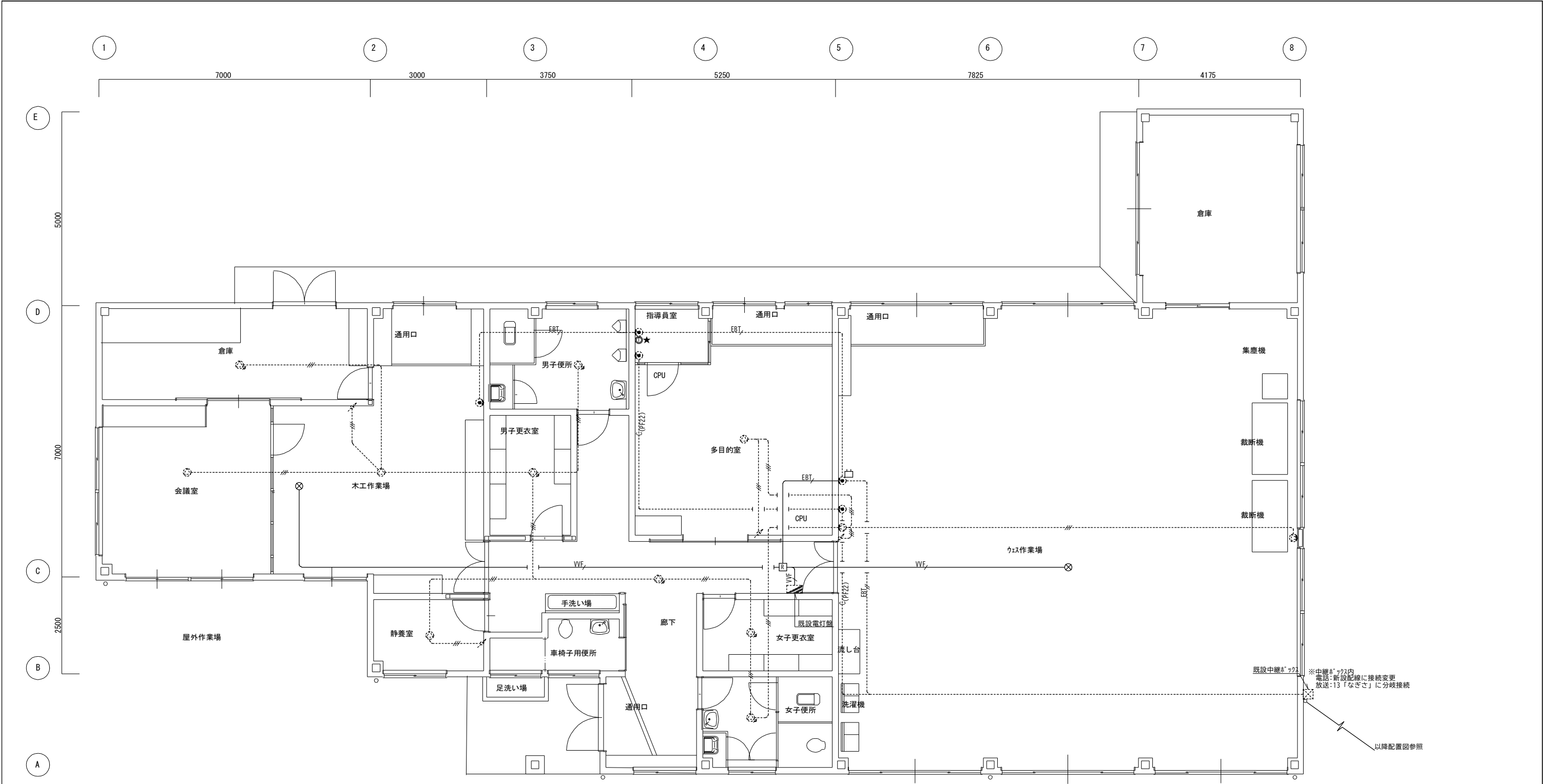
きぼう 電話・放送設備 2階平面図

縮尺

1:200

図面番号

E-11



配線種別

- EBT EBT0. 4-2P
- EBT EBT0. 4-2P×2
- AE1. 2-3C
- VVF VVF1. 6-2C
- C 空配管+呼線(PF22)

配管配線敷設種別

- 天井隠蔽配線

記号	名称	備考
電話	バス・リフト	壁付
多機能電話機		
PHSアンテナ		
電話用リレーボックス		
警報器付回転灯+直付ボックス		

注記

※1 点線部は既設のまますを示す。

※中継ボックス内
電話:新設配線に接続変更
放送:13「なぎさ」に分岐接続

以降配置図参照



WATANABE ARCHITECT
& ASSOCIATES

株式会社 渡辺建築設計事務所

1級建築士事務所 静岡県知事 第726号
TEL 053-577-5880 FAX 053-577-5882

中尾有希子
1級建築士
建設大臣
第285131号

設計者

ファイル名

E10-01 電話設備 平面図

制作年月日
2024.8.

工事名称

令和7年度 浜名学園組合 通信設備等 改修工事

図面名称

なぎさ 電話・放送設備 平面図

縮尺

1:100

図面番号

E-12